令和７年度　ちはら台地区社会福祉協議会 事業報告

全体会議及び全体行事

活　動　部　門	内　　容
総会	年１回　令和７年４月27日（日）　コミュニティセンター
理事会	第１回　令和７年７月６日（日）　支所会議室 議題　「社協演奏会」開催等について 第２回　令和７年10月５日（日）　支所会議室 議題　「福祉のつどい」の実施等について 第３回　令和８年４月５日（日）　支所会議室 議題　令和８年度総会議案等について
役員会	毎月第４土曜日等の総務部会時　　支所会議室
部会連絡会議	第１回　令和７年６月１日（日）　　支所会議室 第２回　令和７年９月７日（日）　　支所会議室 第３回　令和７年12月７日（日）　支所会議室 第４回　令和８年２月15日（日）　支所会議室
第２層協議体会議	第1、2、3、回　部会連絡会終了後実施　支所会議室
地区行動計画推進委員会 （第３次ちはら台地区福祉行動計画作成）	第１回　令和７年７月６日（日）　　支所会議室 第２回　令和７年９月７日（日）　　支所会議室 第３回　令和７年12月７日（日）　支所会議室 第４回　令和８年３月21日（土）　支所会議室
地区社協演奏会	令和７年７月19日（土）　　コミュニティセンター
福祉バザー（制服リユース含む）	令和７年11月２日（日）　　コミュニティセンター
ちはら台福祉のつどい	令和７年11月16（日）　　コミュニティセンター
地域主体の子供の見守り活動）	令和７年７月26日（土）～令和８年３月31日（火）
子供の居場所づくり（試行） ・子どもカフェ（休める場所） ・中学生学習支援 （寺子屋ちはら）	令和７年10月24（金） 令和７年12月12（金） 令和８年１月９（金）保護者説明会 令和８年１月14日（水）～令和８年３月27日（金） （上記期間の水曜日及び金曜日）

役員研修会	令和８年３月７日（土）　　館山市等
広報活動	広報誌「かずさのみち」年２回発行
市社協評議員会	令和７年６月 24 日（火） 令和８年３月 26 日（木）
市社協会議（地区社協連絡会）	令和７年５月 27(火)、７月 29 日(火)、９月 30 日(火)、 令和８年１月 27 日(火)、令８年３月 13 日(金)
市社協フードパントリー事業	令和７年 11 月 30(日)　　市津公民館
市社協災害ボランティア訓練	令和７年 12 月６日（土）　　辰巳公民館（研修会） 令和８年１月 31 日（土）　　辰巳公民館（訓練）

令和７年度　ちはら台地区社会福祉協議会 部会別事業報告

総務部会

部会名	総務部会	部会長	元起裕一
取組内容	部門定例会議の開催 ・定期総会、理事会、部会連絡会議・・・全体事業報告の通り開催 ・各会議の議事録の作成 ・総務部会 毎月１回第４土曜日を基本に開催　年 12 回 イベント等の開催、調整 ・演奏会　７月 19（土）開催（バンド演奏会） ・福祉バザー（制服リユース事業含む）　11 月２日（日）開催 ・福祉のつどい　11 月 16 日（日）開催 ・市社協フードパントリー事業　令和７年 11 月 30(日) ・市社協災害ボランティア訓練　令和８年１月 31 日（土） ・役員研修会　令和８年３月７日開催 各部門の調停業務 ・各部門の予算確保と決算の確認 広報紙「かずさのみち」作成発行 ・２回発行		

直接支援部会

<table>
<tr><td>部会名</td><td>直接支援部会</td><td>部会長名</td><td>立石裕子</td><td>部会員数</td><td>51 名</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td colspan="5">① 部会会議　窓口担当者会議（6 回開催）5/27・7/26・9/30・11/25・1/27・3/17
たすけあい隊直接支援者会議（2 回開催）
7/26　「日常生活での介護予防と乗車介助方法」講習会
2/21　「情報共有と支援者相互の交流会」
② 取り組み事業及び実績
・たすけあい隊受付窓口・・・窓口開催日：236 日　担当者人数：2 0 名
・相談支援・・・27 件（転送電話・訪問での相談も含む。）
今年度も訪問しての相談・利用登録が増え全体の半数程になっている。
・直接支援・・・177 件（預かり 1 件、付添い 167 件、家事 9 件、代行 0 件）
利用者数：37 名　支援者数：21 名
※窓口開催時間：（月）（火）（木）（金）（土）10：00～12：00
※窓口時間外：転送電話（携帯）でキャンセルや緊急時に対応
③ 窓口以外での活動
7/10 二層協議体フォローアップ会議（We ホール）
7/31　日常生活支援事業交流会（アネッサ）
3/06　二層協議体フォローアップ会議（アネッサ）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">相談窓口</td><td colspan="3">直接支援</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">・日常生活の中での困りごとなどの相談を受け、「直接支援」、または「関係機関」などへ紹介。
・月 1 回（第 3 土曜日）「福祉の総合相談会」として、地域包括支援ｾﾝﾀｰ、中核地域生活支援ｾﾝﾀｰ、市社協、民生委員と連携し開催。（１２回開催　15 件）
・各専門機関への相談に伴い、たすけあい隊支援と連動して登録、支援に繋がった例もあった。</td><td colspan="3">・以前からの利用者に加え、新規での登録者がとても増えた。一方、施設入居や体調不良のための支援中止の増加もみられる。
・免許返納による病院や買い物の付添い支援、草刈り・掃除・電気器具の交換など家事支援の依頼が以前より多くなった。
・利用者の高齢化に伴い、認知機能低下や知覚機能の低下・通信機器の操作ができなくなる等、支援者に負担をかける事案が散見され、さらなる対応が課題である。
・その他、包括支援センター・見守り支援部会や児童支援部会、民生・児童委員等との連携も増え、相互に情報交換や相談・支援につながっている。</td></tr>
</table>

見守り支援部会

部会名	見守り支援部会	部会長	金子　隆由
取組内容	①部会会議 ・4 月～3 月まで各月 1 回開催（但し 8 月、1 月は休会） ・見守り対象者を定期的に訪問し部会で情報を共有した ・3 カ月毎に 1 回、安心訪問結果の報告書提出 見守り訪問延べ回数　477　回 ②安心訪問員活動養成講座 ③学習交流会 ・市社協主催の見守り支援事業交流会に参加 ・県主催の見守り研修会に 3 名が参加 ・フォローアップ研修　6/18　17 名参加、包括支援センター講師による ・　〃　11/19　18 名参加　市社協担当者講師による ④情報交換 ・市社協及び地域包括支援センターの担当者に定例部会に参加いただき情報交換を図った		
現　況	・見守り対象者：17 名 ・安心訪問員認定者：21 名（市原市認定者）		
課　題	・独居高齢者が増加する中で、いかに対象者の発掘拡大をしていくか。 ・安心訪問員の拡大		

児童支援部会

部会名	児童支援部会	部会長	河本 千鶴代
取組内容	（１）取り組み ①子育て中の親子が自由に参加し、相互に交流がはかれる場の提供 ②子育て相談支援、情報の提供（インスタグラム開設、ガイドブック発行） （２）事業展開：親子交流，集いの場提供・子育て相談窓口支援，情報提供 ・『子育て広場』『広場のびのび』『すまいる』の運営・子ども向け公演		
	子育て広場（責任者：海宝順子）　支援スタッフ 12 名		
	(1) 部会会議：〇定例部会　12 回開催　〇行事準備会を実施 (2) 活動報告：年間計画で毎回異なる企画(ミニ運動会や食育指導など)を立てて、親子に楽しんでもらった　２月はあすみ吹奏楽団演奏会を行った 〇第 2 木曜日 10 時～11 時半　計 10 回開催(8，1 月は休み) 〇場所：ちはら台コミュニティセンター2 階第 1～3 会議室 〇参加者・・親子延べ 299 名　スタッフ延べ 110 名 （12 月クリスマス会別掲）		
	すまいる（責任者：河本千鶴代）　支援スタッフ 20 名		
	(1) 部会会議：〇定例部会（奇数月第 2 水曜日 6 回開催） (2) 活動報告：水の江小学童保育室で、親子で遊べる場の提供・運営をした 毎月 1 回、ベビーマッサージの体験ミニレッスンやミニイベントを実施 〇毎週火・金曜日 10 時～12 時　計 69 日開催(4.8 月全休) 〇場所：水の江小学童保育室 〇参加者・・親子延べ 412 名　スタッフ延べ 217 名		
	広場「のびのび」（責任者：平石幸子）　支援スタッフ 19 名		
	(1) 活動報告：親子で大きく動いて遊べる場の提供・運営をした 〇毎月第 1・3 月曜日 10 時～11 時半　計 17 回開催(5.6 月は全休) 〇場所：ちはら台コミュニティセンター2 階第 1.2 会議室 〇参加者・・親子延べ 146 名　スタッフ延べ 66 名		

【3 事業合同開催行事】

1，劇団風の子公演『とんからり』（コミセン共催）

・7 月 20 日(日)　ちはら台コミュニティセンター2 階会議室

・参加者　50 名　　スタッフ　7 名

2，『クリスマス会～サンタさんに会いに行こう』（コミセン共催）

・12 月 11 日(木)　ちはら台コミュニティセンター2 階会議室

・２０人１組４グループの入れ替え制で、ワークショップなどの遊びや、サンタクロースからのプレゼント渡しを行なった

・参加者　106 名　　スタッフ　17 名

高齢者支援部会

部会名	高齢者支援部会		部会長	秋山　廣志
部会目標	地域高齢者のコミュニケーションを図り、健康増進と生きがい造りを推進するとともに、地域での孤独化を防ぐ。			
取組事業	①　茶話会１（年 10 回）	②　茶話会２（年 12 回）		
事業名	ふれあい広場（茶話会）	事業名	憩いの広場　（茶話会）	
責任者	柏原　裕子	責任者	秋山　廣志	
会員数	登録者数２７名支援者数１４名	会員数	登録者数　４１名　支援者数14名	
実施会場	コミセン第 1、2 会議室	実施会場	コミセン第 1､2 会議室(憩いの広場) 視聴覚室（カラオケ）	
実施日時間	実施時間： １０：００～１１：３０ 原則第３木曜日に実施	実施日時間	実施時間：１３：００～１４：３０ １４：３０～１７：００（カラオケ） 原則第１木曜日に実施	
実　績	（７年）参加者＋支援者 内容 4.17　２２＋１６＝３８折り紙 5.15　１８＋１７＝３５ 日本地図ビンゴ 6.27　１６＋１５＝３１ ボッチャ 7.24　１４＋１７＝３１ 夏祭り４種類 ８月は休会 9.18　１５＋１７＝３２ 歩行計測、包括センター紹介 10.16　１８＋１６＝３４ 輪投げゲーム 11.20　１８＋１６＝３４ クリスマス飾り作り 12.18　１８＋１５＝３３ クリスマス会（コーラスパフォーマンス・くじ引き大会） （８年） １月２２日　休会 支援者会議１５名 2.19　１８＋１４＝３２ 四字熟語カルタ 3.19　２０＋１７＝３５ 「何が隠れていたかな」 ○実施内容は上記内容に加えて　茶話会、健康体操、脳トレ、誕生日祝など １７７＋１７５＝３５２人	実　績	（７年）　参加者＋支援者 内容 4.03　２１＋１３=３４茶話会ほか 5.01　２２＋１３＝３５茶話会ほか 6.12　２０＋１２＝３２茶話会、ちはら台包括センター池田氏のお話 7.10　１８＋１１＝２９　ボッチャ 8.14　１７＋１１＝２８　歌声 9.04　２３＋１２＝３５茶話会ほか 10.23　２４＋１２＝３６　白金整形の健康体操他 11.13　１９＋１１＝３０ 茶話会、歌声 12.04　１２：００～１４：３０ ３２＋１５＝４７クリスマス会、卒寿祝い、歌声、食事会、ビンゴゲーム （８年） 1.15　１９＋１４＝３３　茶話会　、年初に一言 2.12　２０＋１１＝３２　茶話会、ボッチャ　ちはら台交番からの話 3.05　１９＋１３＝３２　茶話会、歌声 ○実施内容は上記に加えて　脳トレ、体験発表など。希望者は会終了後カラオケ ２５４＋１４８＝４０２人	

障がい者支援部会

部会名	障がい者支援部会　　部会長　　樋口　誠一郎	
部会目標	障がい者が健常者と一同に集い、ユニバーサルースポーツ、ライブコンサート、車椅子者映画鑑賞会、野外活動、カフォン教室を通じて障がい者の心と体の健康維持・向上を図り、障がい者間の連帯を強化する。	
取組内容	① 部会会議	
	毎月第1土曜日　13：00～15：00　コミセン実習室	
	部会開催11回、毎月部会通信及び部会ニュースを発行し部会員の情報共有を図り、活動へつなげた。それぞれ193～204号、101～111号を発行した。　会議に部員18名中、7～１０名が参加し、直前の活動計画を審議し準備を行い、活動を推進した。	
	② 虹の会	③ ユニバーサルスポーツを楽しむ
	会場：コミセン第１～３会議室 12：00～17：00	会場：コミセン体育室、ちはら台公園多目的スポーツ広場　12：00～16：50
	1.第70回6月15日36名 2.第71回9月28日45名 3.第72回 11月30日93名 「Prime楽団ライブと第12回ちはら台 ボッチャ選手権大会」 4.第73回、1月25日33名 5.第74回「.第13回ふれあいコンサート」 3月1日（日） 出演：PRIME楽団で企画してましたが、 楽団メンバーの都合により休止。	1.モルックを楽しもう(ちはら台公園) 1)8回 4月27日102名 2) 第9回11月9日（日）(雨の為休止 3)代替開催11月16日33名 2ユニバ・スポーツ（コミセン体育室 1)31回　7月13日 30名 2) 32回　9月15日35名 3) 33回　2月15日30名 ちはら台弥生公園モルック練習会 4月～12月、第1、3日曜日　10:00～12：00 3.モルック出前事業　10月8日（水） さくら小支援学級
	④ 野外体験	⑤ 車椅子者映画鑑賞会
	実施地：大網不動岩海岸2025年7月12日（日）9：30～15：00	コミセン視聴覚室　12:00～17:0０
	野外用車いす：HippoCampe 事前に重度障がい児童がHippoCampe車へ安全に乗車できるようハーネス、救命衣の検討を行った。初回の為、乗車時間、夏季高温の中でどの程度耐えられるかを考慮し、砂浜疾走を試みた。彼女言葉を発することできないが、1時間笑顔を絶やさなかった。 参加家族：1家族、　スタッフ：5名	1.5月25日（日）11名（1） 「サウンドオブミュージック」 2.10月12日（日）9名（1） 「サウンドオブミュージック」 「ファーザズクリスマス」(障がい児向 3.03月22日（日）9名（1） 「マルサの女」「魔法つかいのナノばあさん」　　() 内は車椅子者
	⑥ カフォン教室	
	パークシティー・リスニングルーム 原則第3土曜日：13:30～15：30	
	月1回　ギター、カフォン、タンバリンで練習した。その成果を73回虹の会でギターとカフォン共演。	

成果と課題	1. 最近、車椅子者がユニバーサルスポーツ、虹の会、車椅子者映画鑑賞会へ積極的に参加し、プレイの向上を意識して活動　映画芸術へ関心を強く寄せ、本映画鑑賞会の質の高さに感動するなど、心、身体の健康の向上を図った 2. ユニバーサルスポ「モルック」が広まり、他地域からの障がい者の参加がみられる。千葉労災看護専門学校生の参加が大人気となり、会場は笑顔で一杯となる 3. 「障がい者へ音楽を」モットーに、カフォン（西洋太鼓）楽器で障がい者が音楽に取り組む機会を本年１年間継続した。小六女子がカフォンに挑戦した。 4. 当該地区のボッチャ競技レベル向上に対応し、投球ゾーンを日本ボッチャ協会ルール則って 1m x 2.5mに固定した。結果さらにプレイ向上を促した 5. 参加者が障害について理解を深める最適な場であるが、スタッフ少数の為情報を収集することが困難である。

小域福祉ネット部会

部会名	小域福祉ネット部会	部会長	鈴木　俊江
部会目標	「市原市地域福祉計画」や「市原市地域福祉活動計画」が目標とする、地域住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、地域の各種団体（自治会、民児協など）と連携・協働しながら小学校区単位において住民の日常生活を支える視点に基づく地域福祉活動の推進に努める。 （各 4 小学校区小域福祉ネットワークに位置づけられる）		
取組内容	① 地域主体の子どもの見守り事業の推進 ・訪問員研修会を開催　7/26（土） ・ちはら台地区「子ども見守り訪問」を実施 8 月～1 月まで・・・17 ケース 2 名 1 組で訪問（すべて訪問終了） ・12 月クリスマスのイベントの案内を配布 ② 子どもの安全・安心を守る活動の推進 ・交通安全推進隊（自治会連合会）の活動に協力し、安全対策の取り組みを実施 ③ 4 小学校区ごとに自治会・民児協・地区社協の交流会を実施　5/18（日） ④ 各会議、研修会に参加 ・第 1 回小域福祉ネットワーク連絡会議　10/20（月） ・安心生活見守り支援事業安心訪問員交流会　1/20（火）→見守り支援部会 ・地域福祉講演会　2/21（土） ・第 2 回小域福祉ネットワーク連絡会議　3/9（月） ⑤ 各小学校区別活動 ・ちはら台桜小学校区（さくらびとクラブ）「世代間交流会」を実施　1/17（土） 軽スポーツ体験会を行なう　27 名参加 ・ちはら台桜小学校区地域防災計画（避難所開設訓練）の取り組みに協働 ・清水谷小学校区で子供の居場所づくりとして子供カフェを実施 10/24（金）88 名参加　　12/12（金）62 名参加 ⑥ 中学生の学習支援を実施 ・令和 7 年 1 月から毎週水曜日及び金曜日　中学 1 年生 10 名、2 年生 10 名		
課題	小学校ごとに各種団体などと協働で地域福祉活動の構築を図りたい。		